

あいち障害者センターNEWS(号外)

2024年2月
(講師派遣・研修版)

発行：NPO あいち障害者センター

名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル TEL052-682-7911 FAX052-682-7916

メール asc732@spa.nifty.com (講師派遣・研修用) ホームページ <http://www.npo-asc.jp/>



子ども発見は人間発見

竹沢清 (元愛知県ろう学校教員)

東京の学習会。こんな相談があった。

「ダウン症の子。大きくなって、これまでできていたことが、できなくなった。どうしたらいい？」

私は、聴覚障害で、多動の正男(中学部)のことを思い起こした。

母親が、「手をつないで歩くのが夢やった」というほど、手をしっかりと握っていないと、どこかに飛んで行ってしまう子だった。

その彼が、中1では、スケート、転ばなかった。中2では転んだ。そして中3では滑らなかった。一見、後退しているかのように見える。ちがうのだ。前傾姿勢で、あちこち動き回る姿(中1)は、スケート向きのスタイル。だから転ばない。だが次第に、背筋が伸び、シャンとした姿勢になると、重心が高くなり、転ぶ(中2)。そして中3では、怖いから滑らない!

できなくなったことの中に、その子の発達がある。

私は、そんな目も持ちつつ、周りの皆さんと相談してみてください、と答えた。

障害児教育に携わって、50余年。子どもの事実は、通り一遍の“子ども理解”を覆してくれる。まさに、「子ども発見は人間発見」。

【雑感】 管理人（事務局）は大騒ぎ

管理人は、近藤直子氏（発達心理学）のお話を身近で聞く機会を多く持っています。

子どもが眠らないという家族の声に、「子どもは子どもなりに外で頑張っている。でも寝ることは大切。寝る前に大好き！と言葉やハグで表し、1日の終わりをハッピーにしてあげて。」というお話がありました。

まさに今それを求めていると思われる仲間を思い浮かべ、納得をしてしまいました。

仲間の支援時、さよならの際にハグ〜と大きく手を広げたら、なんとそれに応えてくれました。

これまでの仲間ではありえないことでした。いえ、ありえないと思い、こちらから働きかけもしてこなかったことでした。今日も1日お疲れ様〜、また支援に入る時はよろしくね〜、と、ギュ〜とハグをし、ご家族に引き継ぎました。

なんだかこちらまで気持ちがスーとして、疲れも吹っ飛んで帰路につきました。

管理人の相方は障害者です。車椅子上では、スイスイと自由に動いています。

言語障害はなく、「おう、あれやって、これやって」と、コミュニケーション力も持っています。

新聞や本のページをめくれなくなれば、電子書籍に切替え、立位がとれなくなれば、座位のまま導尿ができるよう両脇全開ズボンとオムツやT字体パンツに切替え、お茶碗が持てなくなれば、スープカップに切替え、それも持てなくなれば「あ〜ん」と口を開け、その都度都度、生活スタイルを切り替えてきました。

それは相方だけではなく、介護の主軸である管理人が、いかに楽をするかが大きなポイントとなっています。それゆえ、相方にとっては、不本意な選択肢も多々あったかと思います。

その途中経過では、お互い悪あがきもしました。

相方はこれまでに幾度もそれを受け入れ、気持ちを切り替えてきました。

介護する管理人もまた、幾度もそれを受け入れ、気持ちを切り替えてきました。

しかも管理人は、プライバシーも含め、それをフェイスブック等々ですべて暴露してきています。なんてこった〜!!

我が家は、たくさんの方々のおかげで暮らしが成立しています。

道を譲ってくれる、ドアを開けてくれる、ささいな行為かもしれませんが、ささいなことの積み重ねで、我が家の暮らしは成立しています。

そんな支えてくれる方々に、管理人も相方も「すみません」「申し訳ない」とは言いません。

なんて傲慢な障害者と思われるかもしれませんが、我が家では禁句です。

我が家の言の葉は、「ありがとう」です。

管理人（事務局）上田

児童デイ、作業所職員、教師、そして関心のあるみなさんへ

「問題行動」から 願いを探りあてる実践と記録

子どもや障害のある仲間(利用者)の問題行動をどうとらえたらいいのか。目標にどうとりくむのか。そんなことに日々悩みながら、取り組まれている皆さんに「目からうろこ」の講座です。

講師の竹沢清先生は、元ろう学校の教師。ろう学校で出会った聴覚障害と知的障害や発達障害のある子どもたちへの取り組みから「子どもを理解する」「実践をつくりだす」「実践記録を書く」ということを追求されてきました。

眠くなる暇のない講座です。あすからの活動のエネルギーをたくわえる時間となるはず。

講師：竹沢 清氏

(あいち障害者センター)

1946年、石川県生まれ。名古屋大学経済学部卒業後、障害児教育をまったく知らずに、ろう学校へ。

著書に『子どもの真実に出会うとき』『教育実践は子ども発見』『子どもが見えてくる実践の記録』(以上、全障研出版部)など。



2024年 **2月25日(日) 13時00分～16時00分**

会場 **あいち障害者センター2F研修室と**

オンライン (Zoom) 参加との併用

※地下鉄名城線熱田神宮伝馬町、名鉄本線名鉄神宮前駅から徒歩7分、JR熱田駅から徒歩15分

受講料 3000円 (会場定員 12人)

【竹沢先生より】

今、子ども(なかま)たちは苦悩の時代を生きている。
こんな時代だからこそ、
(どの子どもも変わる)人間ってこんなに素敵なんだとの、
人間賛歌ともいべき事実を作り出し、多くの方々と共有したい。
——子ども(なかま)は発達の主体者
私たちは実践の主体者

竹沢節健在!

オンライン講座が増え、事務局は大騒ぎ。なんせ、竹沢氏は演台を右往左往と動き回るため、カメラから姿が消え、声だけが響く～なんてことも。今回は上手にカメラワーク頑張ります。By 事務局

あいち障害者センターの事業紹介

学び、交流しましょう！



子どものこと、仲間のこと、「ああ、みんな同じなんだ」「ああ、そう考えればいいんだ」「あるある～」を、家族も、支援者も、関わるみんなで思いを共有し、今のこと、明日のこと、ホッとできる時間を過ごしましょう。どなたでも参加できます。

- センター2階 研修スペース（名古屋市熱田区）
- ▼ 会場の定員 12名程度（申し込み順）
- 各回参加費 3000円～（各回内容により異なります）
- ▲ 開催方法 ①会場のみ、②オンライン（Zoom）併用（申し訳ありませんが、オンラインの方も同額でお願いします。）
※センター賛助会員（団体・個人）割引あり

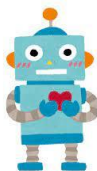
これまでのミニ講座

- *子ども・なかまの見方と記録・その勘どころ（竹沢氏）
- *コロナ禍で三兄弟の親は黙ってられない（浅野氏）
- *気になる子の秘められた魅力（近藤氏）
- *「問題行動」からホントの願いを（竹沢氏）

企画準備中！

こんな曜日に、こんな時間に、こんな話を聞いてみたい…

※日時も含め、ご要望にあわせた講座を企画します。



講座に参加して

- ★私の孫は自閉症です。研修を受けるたびに孫のことを頭に置いて勉強している。“人間を深くとらえる” そうだったのかとわかるとおもしろい。聞けば聞くほど人間相手のお仕事はむずかしい。障害への理解と深さを身につけていきたい。
- ★これまでかかわった仲間たちの「あるある」を思い出しながら、手探りでやってきたことが間違っただけではなかったことに安堵し、また頑張ろうと思う。



竹沢清氏

2024年2月25日（日）

13:00-16:00

「問題行動」から、
願いを探りあてる実践と記録

近藤直子氏

2024年3月3日（日）

13:00-16:00

療育ってなに？

療育と保育は何がちがうの？



あいち障害者センターの事業紹介



【出前講座】近藤先生のこどもの発達基礎講座

(1回コース・2回コース・3回コース)

近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」をテキストに、

1. 発達とは何か？
 2. 乳児期の発達と「1歳半の節」
 3. 2歳から3歳の自我の発達
 4. 4歳、5歳のこころの発達
 5. 学童期の発達
- などをテーマとし、子どもらしいかわいさを発見し、子どもを応援できる手がかりとなるような発達の「学び」を願っています。



いくつになっても発達はある。発達の節目節目を見逃さないで。

発達保障の基礎、初任者研修におすすめ！

※テキストとして近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」の購入が必要。

【出前講座】近藤先生の気になる子の秘められた魅力

近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」をテキストに、

「保育室にいてくれない」「暴言・暴力が目立つ」偏食がきつい
保育の場でよくあげられる、気になる行動の理由にせまったら、
みんなと違って気になるところを魅力に変える手がかりがみえてくる。



保育者のみなさんへ、そして園長さんへのエールです。

※テキストとして近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」の購入が必要。



【出前講座】竹沢先生の障害のある仲間・子どものとらえ方講座

発達・発達保障について、現場での実践経験を踏まえた豊富な事例をもとに

1. 子ども・障害のある仲間のとらえ方と理解・働きかけ
2. 読み手に伝わる記録の書き方

などをテーマとし、講座を通して日々の支援の振り返り、
確信、支援のヒントなどをつかみ取っていただきたいと思います。
放課後等デイサービス、放課後児童クラブの指導員さんだけでなく、
成年期の仲間に関わる職員さんにも聞いてほしい。

捉え方で見方が
かわる、働きか
けがかわる、仲
間がかわる。
実践現場の職員
におすすめ！

※出前講座は、障害児から者まで、対象となる年齢層に合わせて講座内容をアレンジいたします。



「学び」を職員みなさんの共有の財産にするために、 あなたの事業所に何う「講師派遣」事業を行っています。

障害のある人が、住みなれた地域で暮らし続けられるための制度改正が進められてきています。日本が2014年に批准した国連・障害者権利条約は、障害者の「固有の尊厳、個人の自律（自ら選択する自由を含む）及び個人の自立を尊重すること」、「差別されないこと」、「社会に完全かつ効果的に参加し、及び社会に受け入れられること」等（第三条）を求めています。しかし、障害のある人や家族への負担は増すばかりです。

こうした中で、障害のある人や家族とともに一歩でも前に歩める、障害者児の日中活動や暮らしの場における支援の在り方や職員の力量のアップが求められています。

「学び」を職員全員の共有の財産にするために、あなたの事業所に伺います。

※講師派遣（講演）は、ご希望の内容をふまえ、講演内容を相談いたします。
※センターにご協力いただいている多彩な方々が、成年後見、親の立場、当事者として、得意分野を語ります。



障害のある人や子ども、
そして家族の気持ちや思いが
わかると、毎日の取り組みが
少し楽になる。

うんとたのしくなること
だってある。

講義や読書が苦手な人も
楽しく学べる講座。

リピーターも多いけれど
初心者大歓迎！



センター事業の利用と賛助会員加入のお誘い

皆様には、私たちの取り組みに賛同をいただき、センター事業活動大にむけてご協力をお願いいたします。応援募金にもご協力ください。

団体賛助（法人・事業所）年間 10000 円 / 個人賛助 年間 2000 円